

東芝照明プレジジョン(株)新潟事業所 サイトレポート情報

所在地	: 新潟県長岡市東川口1979-26
敷地面積	: 12,839㎡(建家面積:5,275㎡、緑化率:21%)
従業員	: 50人(2016年3月現在)
主要製品	: エネルギーデバイス部品、照明部品
ISO14001認証取得日	: 1999年5月26日
最新更新年	: 2015年3月31日 (ISO認証番号:E1102)
有効期限	: 2018年3月30日



ごあいさつ

東芝照明プレジジョン(株)新潟事業所は、中越地域の中央部に位置し、魚野川と信濃川が合流する水と山と緑豊かな自然環境に恵まれた立地条件の中で事業を展開しています。事業所では、蓄電池構造部品、蛍光灯・電球用口金を製造しており、環境保全活動に従業員一丸となって取り組んでいます。



環境保全責任者 景本英司 事業所長

2015年度の環境の主な取組み

1. 環境マネジメント

- (1)ISO14001環境マネジメントシステム
 - ・2015年3月認証更新、2016年2月定期サーベイランス認証継続
- (2)環境保全体制の充実
- (3)法令、条例の順守

2. 事業活動における環境への取組みの改善

- (1)地球温暖化防止
 - ・エネルギー起源CO₂総排出量生産高原単位 目標172t-CO₂/億円(前年2%削減) 実績156t-CO₂/億円(9%削減)
 - ・物流CO₂総排出量生産高原単位 目標3.75t-CO₂/億円(前年1%削減) 実績3.39t-CO₂/億円(10%削減)
- (2)資源有効活用
 - ・廃棄物総発生量生産高原単位 目標37.1t/億円(前年2%削減) 実績45.6t/億円 (目標未達)
 - ・最終処分率 目標0.5%未満 実績0.02%
 - ・水受入量生産高原単位 目標0.11千m³/億円(前年2%削減) 実績0.29千m³/億円 (目標未達)
- (3)化学物質管理
 - ・化学物質取扱量生産高原単位 取扱いなし

3. 環境コミュニケーション

- (1)全員参加・啓発活動の展開
 - ・安全環境ニュースによる環境啓発活動
- (2)地域とのコミュニケーション
 - ・生物多様性の取組み(絶滅危惧種の保護)
 - ・構外清掃活動

新潟事業所で製造する環境調和型製品の紹介



蓄電池構造部品・周辺部品



蛍光灯・電球用口金

東芝照明プレジジョン(株) 環境方針

東芝照明プレジジョン(株)は、福島県福島市に福島事業所、新潟県長岡市に新潟事業所、神奈川県川崎市に川崎事務所を置き、事業所及び工場は阿武隈川、信濃川の清流に隣接し、水と山と緑豊かな自然環境に恵まれた場所に立地している。一方、川崎事務所は東京都との境を流れる多摩川の恵みを受けた、「世界的な先端産業都市」で営業活動を行なっている。

当社は、東芝及び東芝ライテックグループの環境基本方針にある「“かけがえのない地球環境”を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立ち、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境活動により、持続可能な社会の実現に貢献します。

1. 環境への取組みを経営の最重要課題の一つとして位置付け、経済と調和させた環境活動を推進します。
2. 事業活動、製品・サービスに関わる環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の予防などに関する環境目的及び目標を設定して環境活動を推進します。
3. ISO14001 規格に適合した環境マネジメントシステムを構築し、監査に実施や活動のレビューにより、環境経営の継続的な改善を図ります。
4. 環境に関する法令、当社が同意した業界などの指針および自主基準などを遵守します。
5. 地球温暖化の防止、資源の有効活用、化学物質の管理など、設計、製造、販売、廃棄などすべての事業プロセスで環境負荷低減に取り組みます。
6. 当社の事業分野であるエネルギーデバイス分野、産業分野、照明分野の製造、販売、サービスで、持続可能なスマートコミュニティ社会実現を目指した環境経営を推進します。
 - (1) エネルギー使用設備において管理の徹底、設備改善等を行い、電気、天然ガス等の使用量を削減し、CO2 排出量を抑制します。
 - (2) 水質・騒音などに関わる施設の管理の徹底と設備の改善を行ない、環境に与える影響を最小にすると共に、事故等の予防措置に努めます。
 - (3) 循環型社会を目指し、廃棄物の削減及びリサイクル、化学物質取扱量の削減などを図り、資源の有効活用を推進します。
7. 優れた環境技術や製品の開発と提供、および地域・社会との協調連帯により、環境活動を通じて社会へ貢献します。
8. 従業員の環境意識をより高め、全員で取り組みます。またグローバル企業として、東芝グループと一体となった環境活動を推進します。

2016年 4月1日
東芝照明プレジジョン株式会社

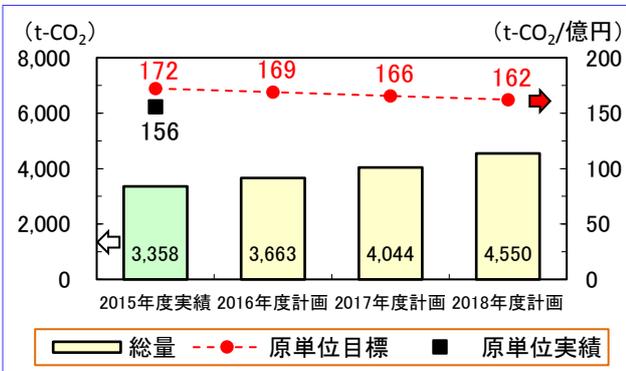
岩田 進一

事業活動における環境への取組みの目的・目標

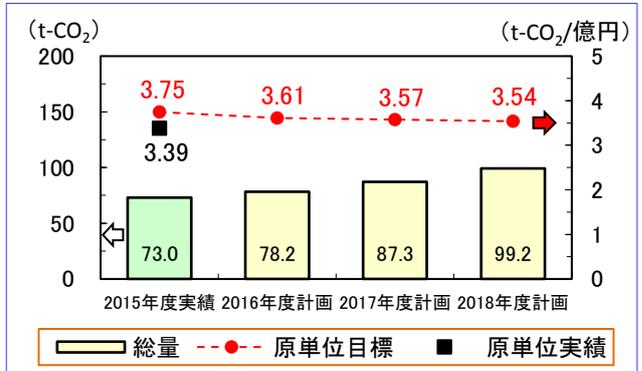
取組み項目		2016年度	2017年度	2018年度
地球温暖化防止	エネ起源CO ₂ 総排出量原単位の改善(t-CO ₂ /億円)	169	166	162
	物流CO ₂ 総排出量原単位の改善(t-CO ₂ /億円)	3.61	3.57	3.54
資源有効活用	廃棄物総発生量原単位の改善(t/億円)	47.6	46.6	45.6
	最終処分率の管理(%)	0.35	0.35	0.35
	水受入量原単位の改善(千m ³ /億円)	0.31	0.30	0.30
化学物質管理	化学物質取扱量原単位の改善(t/億円)	—	—	—

環境負荷データ

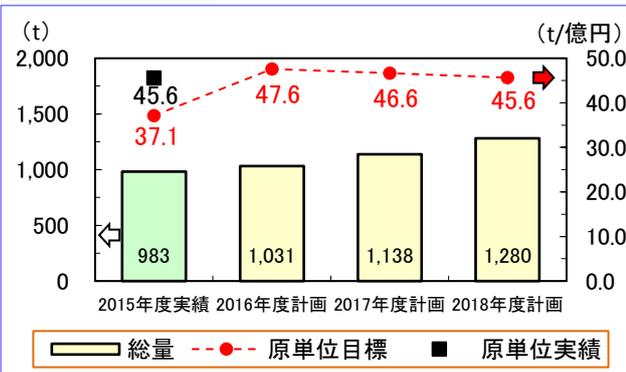
エネ起源CO₂



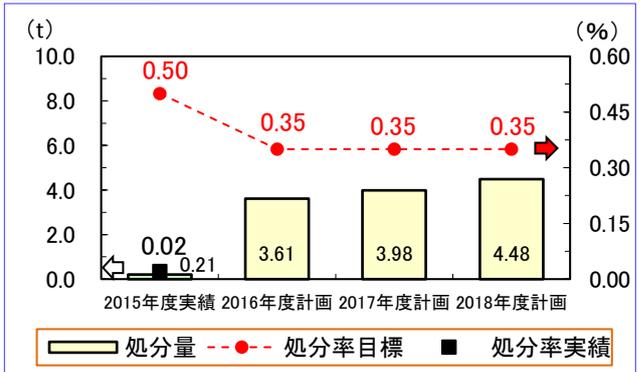
物流CO₂



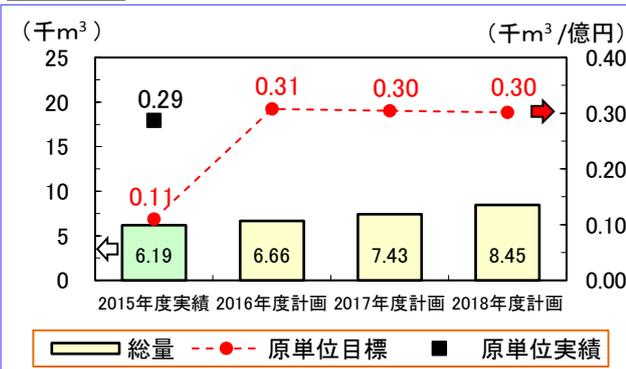
廃棄物総発生量



最終処分率



水受入量



化学物質取扱量



環境コミュニケーションの紹介

<事業所看板の消灯活動>

七夕の日に合わせて、事業所の看板消灯を実施しました。

(実施概要)

・日時:2015年7月7日



看板の消灯の様子

<事業所周辺の清掃活動>

当事業所では、毎年、環境月間に合わせ事業所周辺の清掃活動を実施しています。

今回も清掃活動を実施し、10kgの廃棄物を回収しました。

今後も地域活動の一環として、継続していく予定です。

(実施概要)

・日時:2015年5月25日

・参加人数:35名



清掃活動の様子



集合写真

生物多様性の取組み

1. 指標種の選定

指標生物	指標生物の希少性
ナミアゲハ	—
ギフチョウ	環境省絶滅危惧II類 (VU)

2. 事業所内での保護・育成活動

新潟事業所は、信濃川水系の魚野川流域に立地しており、魚野川と山間部に挟まれた平地であり、水辺が豊富な環境にあります。

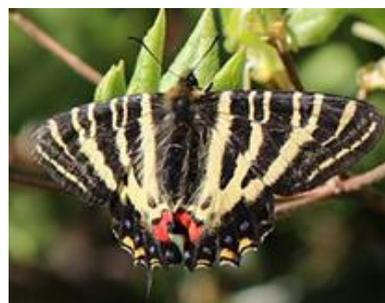
事業所周围は山であり、近くに運動公園など緑地も多く、中小の寺社が散在していることから、在来の飛来生物も多いと推測されています。

そこで、構内で緑地の一角にアゲハ幼虫の避難場所を設け、事業所を中心としたアゲハチョウ生態系ネットワークを構築しました。

また、アゲハチョウの他に、地域固有の蝶(ギフチョウ)の呼び込みもしており、事業所周辺に生息する蝶を呼び込むために食草(サンショウ)を植えています。



ナミアゲハ



ギフチョウ



サンショウ